ざんねん・・・

みんなの暮らしを支えている「生物多様性」を守るためには、「生きものの生息環境が守られたまちづくり」を目指す必要があるばい！

そのための国土交通省の取り組みの1つが、「多自然川づくり」っぱ！

持続可能な社会のためには、上手く自然と共生する必要があるんやね～！

国土交通省の生物多様性保全に向けた取組

英語版

生物多様性保全のための主な取組例

■多自然川づくり

我が国では河川整備にあたって、河岸や水際をコンクリートで固めず、湿地、河原等を保全・再生・創出するとともに、川の流れによる地形の形成やその土地の植物の自生を促すなど自然の特性やメカニズムを活用することにより、生物の生育・生息・繁殖環境の再生・創出を行っています。

神奈川県横浜市を流れる鶴見川水系梅田川では、洪水対策で川の断面を広げる改修を行う際（計画流量6m3/s → 35m3/s）に、山の斜面に沿う川の蛇行を残すことで、魚の暮らしの場となる瀬や淵の形成や、餌となる虫を提供したり稚魚の隠れ場となる水際植生の生育を促しています。

1992年（改修前の状況）　2007年（施行後約14 年経過した状況）

出典：国土交通省ホームページ「国土交通省の生物多様性保全に向けた取組」